

## 第3節 各州における電子投票の実践

### 1 カリフォルニア州リバーサイドカウンティ

カリフォルニア州リバーサイドカウンティは、人口1,545,387人のアメリカで4番目に大きな郡である。

カウンティの庁舎の入口には、選挙人登録等の選挙用のポストが設置してあり、閉庁時でも選挙人は選挙人登録ができるようになっている。

リバーサイドカウンティ庁舎



選挙用ポスト



#### (1) 電子投票システム導入の経緯

リバーサイドカウンティ（以下「リバーサイド」という。）は全米で最初に電子投票を全面的に採用したカウンティである。

リバーサイドでは、1979年以來マークセンス方式(Mark-a-Vote)の投票用紙による選挙を行っていたが、投票用紙の印刷に莫大なコスト<sup>3</sup>がかかる上、集計作業が煩雑で、改善を求める声が高かった。

コスト削減と迅速・正確な集計を実現するため、投票制度の抜本的な改革を行うこととしヨーロッパ諸国などで広く用いられている電子投票システムの導入に向けて議論を重ねてきた。

1999年8月24日リバーサイド内サンジャミント市のリコール投票で初めてタッチスクリーン式端末を使用、その後の2000年11月の選挙では、リバーサイド全域でタッチスクリーン式端末が使用された。

#### (2) システムの概要

リバーサイドでは、さまざまなメーカーの製品を比較検討した結果、使いやすさ、耐久性、維持コストなどの点で優れていたセコイア(SEQUOIA)社製のタッチスクリーン式投票機（以下「投票機」という。）を714の選挙区の各投票所に5台から10台設置するために4,250台購入し、総費用は1,400万ドルであった。



<sup>3</sup> 使用されない用紙は、全て廃棄された。

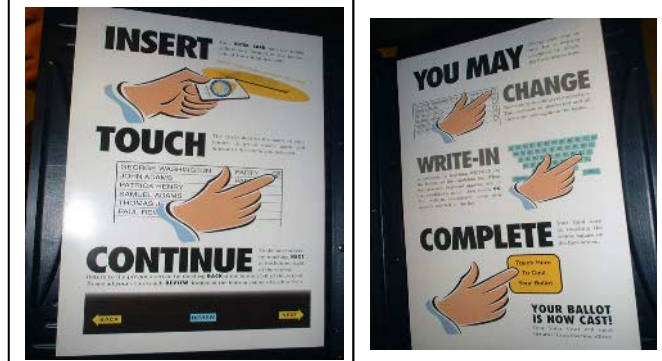
### (3) 投票の手順

投票機の両袖には、使用方法が添付してあり、選挙人はそれを参考にして投票することができる。

操作手順は以下のとおりである。

- ① 各選挙人は指定された投票所に行き、受付で住所と氏名を告げ、署名を行う。
- ② 選挙資格が確認された後、係員の前でカード設定機(Card Activator)の上部スロットにカードを差し込む。
- ③ カード設定機に記載された政党名(0～9)の中から自分が選んだ政党名のボタンを押すとカードがフォーマットされる。
- ④ フォーマット終了後のカードを投票機の下部スロットに挿入する。
- ⑤ 画面に候補者等の一覧が表示されるので、投票を希望する候補者名の右横にある○をタッチし、候補者を選択する。誤選択や変心のため選択を変更したい場合には、もう一度同じ場所をタッチすることにより選択はクリアされる。その後の操作は同様である。また、候補者リストに自分が投票したい候補者名が無い場合には、画面の「write-in」と書かれた場所をタッチすることにより、画面上に記入画面が表示され、自由に名前を記入することができる。次の画面に移動したい場合は、「Next」キーをタッチすることにより、次の画面が表示され、候補者を選択することができる。

投票方法の説明



投票カード



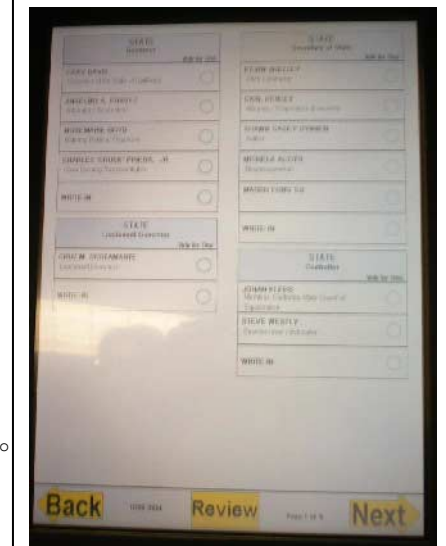
カード設定機(Card Activator)



スロット部分 (左下)



操作画面



- ⑥ 自分の選択結果を確認したい場合には、「Review」キーをタッチすることにより、一覧画面が表示され確認することができる。
- ⑦ 前の画面に戻りたい場合には、「Back」キーをタッチすることにより、前の画面に戻ることができる。
- ⑧ 最後に  
「Touch here to cast your ballot」をタッチすることにより投票行為が終了する。
- ⑨ 投票機からカードを取り出し、係員にカードを返却し、投票が終了する。

#### (4) 投票終了後の手順

- ① 投票時間終了後、投票所の係員が直ちに投票機を封印する。
- ② 投票機毎に選挙の結果をプリントアウトする。
- ③ 投票データの納められたカートリッジとプリントアウトされた結果を一つにまとめて係員が集計所に搬送する。
- ④ カートリッジのデータは、集計所で処理され、選挙結果が確定される。

#### (5) メリット

- ① 選挙事務の効率化  
電子投票のメリットとして最初に挙げられるのが集計作業の効率化である。従来のマークセンス方式では、集計時間に数時間を要していたが、電子投票に変更してからは10分程度で集計が完了するなど選挙結果の判明までに要する時間を大幅に短縮することが可能となった。また、投票用紙が不要となったため、選挙準備に要していた膨大な事務作業を大幅に削減することができた。従来は、投票用紙印刷後の候補者や事項の変更または言語の追加が容易ではなかったが、電子投票に変更してからはソフトをインストールするだけで簡単に行うことができる。
- ② 集計ミスの減少等  
従来のシステムの場合、複数の場所にマークしたことによる（二重投票）無効票が多かった。電子投票に変更してからは、同時に二人以上の候補者を選択できないシステムになっているため、二重投票による無効票はなくなった。また、集計がデータカートリッジから自動的に行われるため、ペーパー方式に比べて集計の精度が高くなった。
- ③ 投票率の向上  
リバーサイド全域で電子投票が初めて実施された2000年の選挙の投票率は74%であり、前回の1996年の投票率63%を大幅に上回った。2000年の選挙は争点が多く、住民の関心も高かったという理由もあるが、電子投票システムに対する住民の関心の高さも投票率の向上にいくらか影響しているのではないかとリバーサイドではみている。

#### ④ コスト削減

リバーサイドでは、初期投資として投票機器導入に総額 1,400 ドルを要したが、従来の選挙では投票用紙の印刷・配送に 1 回当たり 140 万ドルを要していた。リバーサイドの担当部局では、電子投票導入前と導入後の経費の比較データを持っていないが、メンテナンス費用やシステムの改善に要する費用を見積もっても投票機器が 20 年以上の耐用年数を持っていることを勘案すると長期的にみれば、従来の方式に比べて大幅なコストの削減ができるとみている。なお、電子投票の導入に伴い職員の削減は行われていない。

### (6) システム導入にあたり配慮した点

#### ① セキュリティと信頼性

リバーサイドの電子投票機器は、外部とのネットワークを持たない完全なスタンド・アローンシステムであるため、ハッキング等の外部からの不正または妨害の心配は全くない。

また、データカートリッジの他に本体に予備のバックアップ用のデータメモリーを備えており、万が一データカートリッジが破損した場合でも再びデータを取り出すことができる。なお、本体には予備電源を備えており、停電時でも 2 時間程度は稼働するようになっている。このため、データは停電でも消えることはない。

#### ② 投票者のプライバシーの保護

投票機には投票者を特定するようなデータの記録は全く残らないようになっており、投票者がどの候補者に投票したかを特定することはできないシステムになっている。

#### ③ 高齢者・障害者等への対応

投票機の画面は、必要に応じて画面の角度を変えられるようになっており、車いすの選挙人も自分の見やすい角度に簡単に変更することができる。リバーサイドの担当者によると以前の選挙で車から降りられなくなった妊婦のために、投票所の係員が投票機を移動させ無事車の中で投票したこともあったそうである。

視覚障害者に対しては、音声ガイドと点字付コントローラーをつけることによって投票できる機能も備えている。また、肢体不自由者のためにブレスコントローラーの機能を追加することもできるが、現在、リバーサイドではこのシステムを導入しておらず、投票を補助する人が操作することとしている。



なお、投票機では使用する言語を英語かスペイン語のどちらかを選べるように設定しており、英語を解さない住民への配慮<sup>4</sup>がされている。他の言語への対応が必要な場合には、ソフトウェアをインストールするだけで変更することができる。（第2章7「少数民族の言語による選挙時の情報の提供」参照）

④ 広報

電子投票の導入にあっては、当初、高齢者などを中心に投票機器の操作に対する不安の声が高かったため、係員が老人ホームなどを訪問し、実際に投票機器に触れてもらう等の講習を行うとともに正確性やコスト削減など電子投票導入によるメリットをねばり強く説明した結果、大きな反対もなく導入に踏み切ることができ、2000年の選挙後の調査でも投票者の90%が操作は、簡単だったと答えている。

⑤ 投票機器の保管

庁舎内に倉庫があり、投票機器にはシリアルナンバーがつけられるとともに地域ごとに並べて保管をしている。

メンテナンス中の投票機器



保管中の投票機



投票機にはそれぞれシリアルナンバーが付けられている。



ラベルの番号で設置する投票所を確認する。



<sup>4</sup> 投票権法第203項により、少数民族の言語による情報提供について規定している。

## 2 テキサス州タラントカウンティ

タラントカウンティはテキサス州フオートワース市を中心とするカウンティで、人口約 140 万人、テキサス州内で 3 番目に大きいカウンティである。

カウンティ選挙管理委員会  
掲示板



カウンティ庁舎



### (1) 電子投票システム導入の経緯

タラントカウンティでは、1980 年代からマークセンス方式を採用してきたが、最近になって集計の効率化および障害者への対応等の面から新しい方式の投票方式を望む声が高まっていたことから、1999 年から新しい投票方式の検討に入り、多くの電子投票システムの比較検討を行った<sup>5</sup>。2001 年 6 月に企画書を業界各社に提示して提案を募り、応募の中から慎重に比較検討を行なった結果、最終的に HART intercivic<sup>6</sup>(ハートインターシビック)社の e Slate システムを採用し、2001 年 11 月に行われた選挙の事前投票で初めて使用された。

### (2) e Slate システムの概要

e Slate システムは、大きく分けてデータの集積および処理をするブースコントローラー(Judge's Booth Controller) (以下「コントローラー」という。)と入力操作をする eSlate との 2 つの機器で構成される。

Judge's Booth Controller



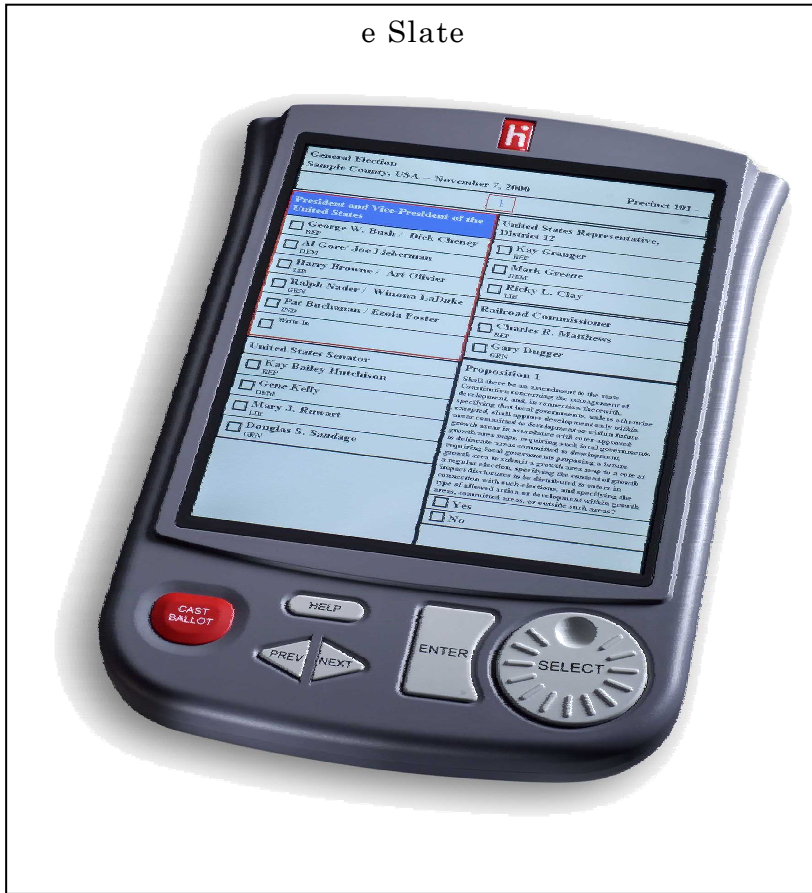
縦:	32.50 cm
横:	39.38 cm
高さ:	13.25 cm
重さ:	2.91 kg

コントローラーに選挙人のデータを入力後、投票を行う為の 4 桁のコード番号がプリントアウトされ、有権者に渡される。コード番号は、ランダムな数字であり、有権者が誰に投票したか追跡できないようには設定されている。

<sup>5</sup> 数社の電子投票システムを試験的に実際の選挙で使用したとのこと。

<sup>6</sup> Hart intercivic (ハートインターシビック)社は、テキサス州オースチンに本社を持つ会社で、州および地方自治体の電子政府および電子投票等の施策を支援するためのサービスを提供している。e Slate は電子投票システムの中でもユニークなダイヤル選択方式を採用している。(他社の製品はほとんどがタッチスクリーン式である。)

e Slate



縦: 39.38 cm  
 横: 26.00 cm  
 高さ: 6.88 cm  
 重さ: 2.36 kg



**SELECT**  
 ダイヤル  
 を回し項  
 目を選  
 択。



**ENTER**  
 ボタンを押  
 すことによ  
 って選択を  
 確定させ  
 る。



**CAST  
 BALLOT**  
 全ての候  
 補者の選  
 択終了後  
 にボタン  
 を押す。



**PREV・NEXT**  
 前の画面に戻  
 る場合は、  
**PREV** ボタ  
 ン、次に進む  
 場合は、  
**NEXT** ボタン  
 を押す。



**HELP**  
 助けが必要  
 な場合ボタ  
 ンを押す。

### (3) e Slate の特徴

タラントカウンティおよびハートインターシビック社によると、eSlate には他のシステムと比べて次のような特徴があるということである。

#### ① 正確性

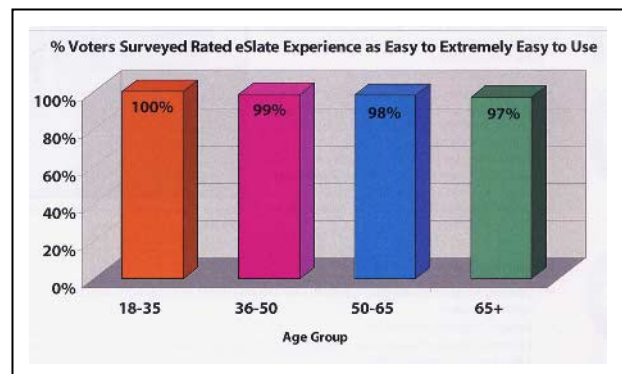
従来から使用していたマークセンス方式では、重複投票による無効票が多かったが、現在は、同時に2人以上の候補者を選択できないシステムとなっているため、無効票が皆無となった。

ダイヤル選択方式は、タッチスクリーン方式に比べて、投票者の選択ミスが少なく、より投票者の意思が正確に反映できるシステムだということである。(タッチスクリーン方式は、候補者が多くなることにより選択項目が狭くなった場合等にタッチする位置がずれ、意思とは違った選択をしてしまうことが発生する可能性があるが、ダイヤル選択方式では起こりにくい。勿論、タッチスクリーン方式においても最後の確認画面で選択した候補者が正しいか確認すれば問題ない。)

#### ② 操作性

ダイヤル方式は、ステレオなど家電製品に多く使われており、投票者にとってなじみの深い操作方法である。特に電子投票機械に抵抗のある高齢者にとってはタッチスクリーン方式よりもダイヤル式の方がなじみやすいという調査もある。

(表はダイヤル方式を使用して容易と感じた割合)



#### ③ アクセシビリティ

マークセンス方式から電子投票システムに変更を迫られた大きな原因の一つに高齢者および障害者への対応があるが、e Slate は完全な障害者対応となっている。車椅子の投票者には低くしたブースを設置することにより対応できる。視覚障害者用の音声ガイド機能、肢体不自由者には大きなボタン、ブレスコントローラーなどの補助操作器具も備えておりいずれも簡単に装着できる。(第2章3「投票時の対応」参照)

#### ④ 小型軽量

選挙に携わる職員にとって機械が小型軽量であることは、機器の設置などの作業がしやすく、事務作業の効率化を図ることができる。また、持ち運びが簡単に出来るため、障害者等が自動車から降りずに投票することも出来る。また、機械の保管が比較的小さなスペースで出来る。



⑤ 耐久性

e Slate は、耐久試験では 10 年以上の耐久期間をもつということである。また、水をこぼしても上から落としても壊れず、画面を鉛筆等で突いても傷がつかない。

⑥ 費用

タラントカウンティでは、e Slate システムに合計 776,850 ドルを費やした。これには機器の購入費用だけでなく、長期サポート契約、広報、投票者教育などの費用も含まれている。この投資が従前の投票システムに比べてどの程度経費の削減につながったかを比較するのは困難であるが、投票用紙の印刷・配送にこれまで一回の選挙あたり約 80,000 ドルかけていたことを考えると、10 年以上耐久力を持つと考えられている本システムのほうがはるかに安上がりだとタラントカウンティでは見ている。なお、本システムの導入による人員の削減は、行われていない。

⑦ 広報

タラントカウンティではハートインターシビック社と協力して新しい電子投票システムの広報に努めてきた。タラントカウンティでは、回転式ダイヤル方式にかけた”Tarrant turns to the future”という標語で新しい電子投票システムを広報している。

**(4) 投票の手順**

e Slate の両脇には、使用方法が添付してあり、投票者はそれを参考に投票することができる。

- ① 各有権者は、自宅に郵送された投票券を持って任意の投票所に行き、受付で投票券を提示する。
- ② 選挙資格が確認された後、係員が、コントローラーに有権者のデータを入力
- ③ 投票を行う為の 4 桁のコード番号が有権者に渡される。
- ④ 投票所の任意のブースに行き投票を行う。(一段低いブースは障害者用)



## (5) 投票機械の操作手順

①

### Select Your Language

1. Rotate the **SELECT** wheel until the language you want is highlighted in red.

English

Español

2. Press **ENTER** to make your selection.



e Slate 本体右下の  
選択ダイヤルを回し、  
言語（英語かスペイン  
語）を選択


②

### Enter Your Access Code

SCREEN CODE  
4192  
DATE: 11/11/11  
COUNTY: HARRIS  
PRECINCT: 030201

4			
1	2	3	
4	5	6	
7	8	9	
Back	0	Clear	

1. Turn the **SELECT** wheel to highlight the first number of your Access Code.
2. Press **ENTER** to choose that number.
3. Repeat for all numbers of your Access Code.
4. When the last digit in your code has been entered, you will see the first page of your ballot.



コード番号の入力  
画面に受付で渡され  
た4桁のコード番号  
を入力（ダイヤルを回  
し画面上の番号を選  
択する。）。

③

### Make Ballot Choices

Council Member

Abraham Lincoln


Alexander Hamilton

Council Member

Abraham Lincoln

Alexander Hamilton

1. Turn the **SELECT** wheel until your choice is highlighted in blue.
2. Press **ENTER**. The box to the left of your choice will turn red to show your vote.
3. The blue highlight bar will move to the next contest title.
4. Continue through the ballot until you have voted all the contests you wish to vote.
5. You may use the **PREVIOUS** or **NEXT** buttons at any time to move through the ballot.



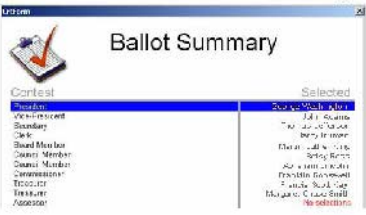
画面に候補者の一覧  
等が表示される。投票者  
はダイヤルを回して投  
票したい候補者の項目に  
合わせ、本体右下の  
「ENTER」キーを押す  
と結果が記録される。も  
し誤って選択した場合  
や、別の候補者に変更  
したい場合には、ダイヤ  
ルを使いカーソルを別の  
候補者に合わせ、再び  
「ENTER」キーを押す  
だけで変更される。

- ④ ①から③の手順を繰り返す。
- ⑤ もし投票を希望しない項目があれば選択せずに「NEXT」キーを押す。

⑥

### Review Your Ballot

- ✓ After you have voted all the pages of the ballot, a **Ballot Summary** page appears. This allows you to review your selections.
- ✓ To change your vote, turn the **SELECT** wheel until the contest you want to change is highlighted, then press **ENTER**. You will return to that contest.
- ✓ You may use the **PREV** and **NEXT** buttons to review your ballot.



全ての投票項目が終了すると、選択結果一覧が画面に現われ、自分の選択結果を最終的に確認することが出来る。この時点でもし間違いがあり、変更を希望する場合には再び「PREV」キーで前の画面に戻り変更することも可能。

⑦

### Cast Your Ballot

When you are ready to cast your ballot, press the **CAST BALLOT** button.







選択結果の確認を終了した後、変更等がない場合は、「CAST BALLOT」ボタンを押し投票する。

⑧

### Cast Your Ballot

Your vote has been recorded when you see the waving American Flag.





星条旗の画面が出ると投票完了

## (6) 投票終了後の作業

各投票者の投票結果は、電子データとして各投票所にあるコントローラに保存される。投票データは、e Slate 内部のハードディスク、コントローラ内のフラッシュメモリーカード（以下

フラッシュメモリーカード  
取出口



フラッシュメモリーカード

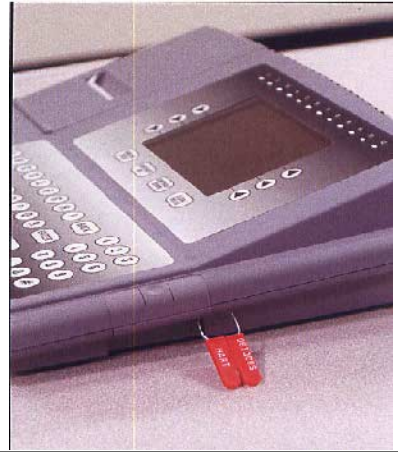


「カード」という。)の合計3箇所に保存される。コントローラのカード取り出し口は、開けることのできないように鍵がかけられる。

スロットにカードを差込み、データを読み込む。



カード取出口には鍵がかけられる。



投票が終わると投票結果の蓄積されたコントローラはカードごと封印され選挙管理事務所で保管される。

タラントカウンティでは、事前投票だけに電子投票が利用されているが、事前投票が終了した後、メールにてデータを集計センターに送付し、後日、コントローラの中のデータを正式のデータとして集計する。

各投票所から集計センターへ送られたデータは、集計作業終了後、裁判等によるデータの検証に備えカートリッジに保存され次の選挙まで保管される。

データカートリッジ



カートリッジの保管棚



### 3 テキサス州ハリスカウンティ

#### (1) 概要

ハリスカウンティは大都市ヒューストンを含む人口約 310 万人、登録有権者約 170 万人の郡である。現在投票所は 884 箇所あり、そのうち事前投票所が 29 箇所ある。



#### (2) 電子投票システム導入の経緯

ハリスカウンティでは 1960 年代からパンチカード方式を利用してきたが、事務の非効率さと障害者法

(Americans With Disabilities Act) が求める障害者対応基準に全く適合していなかったため、新しい投票システムの構築が急務とされていた。1998 年初めから対策委員会を設置し、電子投票システムを 4 つの候補（3 機種はタッチスクリーン方式、残りの 1 つがダイヤル選択方式の e Slate）に絞り徹底的に比較検討を行なうとともに、様々な人々に実際に試してもらい使い勝手などを調査した。その結果、ハートインターシビック社の eSlate システムが採用され、2001 年に行われた選挙の事前投票で初めて使用された。2002 年 11 月に行われた選挙では、事前投票だけでなく選挙日における投票でも電子投票システムを利用し、無事に成功を収めた。

ハリスカウンティでは、eSlate システムに合計 25,152,830 ドルを費やしたが、これには 8,000 台の機器購入費用だけでなく、長期サポート契約、広報、投票者教育などの費用も含まれている。この投資が従前の投票システムに比べてどの程度経費の削減につながったかを比較するのは困難であるが、今までの投票用紙の印刷・配送等にかかる費用を考慮すると 10 年以上耐久力を持つと考えられている本システムのほうがはるかに安上がりだとカウンティでは見ている。

## 4 メリーランド州

### (1) 電子投票システム導入の経緯

2000年11月7日の大統領選挙の際に、フロリダ州のパンチカード方式を採用しているカウンティで、①投票用紙に完全に穴が空いていない投票をカウントすべきか ②投票用紙の穴をあける位置が非常に紛らわしいなどの批判が続出した。

メリーランド州においてもパンチカードを採用しているカウンティがあり、同様の事態が起こった<sup>7</sup>こと、また、レバー式投票機のように既に部品の手入が難しく修理ができないような投票機を使用しているカウンティがあることから、2000年12月4日グレンデニング州知事が、州全体の投票システムと選挙手続きを再検討するために特別委員会を設立した。

【2000年大統領選挙における各投票所での投票機使用割合】

型 式	各システム採用			選挙人登録者数	登録者数における割合
	カウンティ	投票区域	投票区域における割合		
レバー式投票機 (Mechanical Lever)	3	271	16.27%	408,289	15.04%
パンチカード式投票機 (Datavote)	1	227	13.62%	461,287	16.99%
マークセンス式投票機 (Global ES 2000)	2	20	1.20%	34,578	1.27%
マークセンス式投票機 (optech II)	1	85	5.10%	140,526	5.18%
マークセンス式投票機 (Optech III-P E a g l)	16	738	44.30%	1,361,387	50.14%
電子投票式投票機 (AVC Advantage)	1	325	19.51%	309,299	11.39%
合 計	24	1,666	100.00%	2,715,366	100.00%

※選挙人登録者数は、2000年10月13日現在

特別委員会は、2001年2月に報告書をまとめ

- ① 州選挙管理委員会が、州全域で使用する投票システムを選定すること。
- ② 選定されるシステムは、電子投票方式（直接記録方式）であること。
- ③ 州はカウンティの選挙管理委員会が電子投票システムを導入するに際し、資金援助すべきこと。

などを提言した。これを受けて州選挙管理委員会は、2001年12月7日にダイボールド社(Diebold Election System)製のシステムをメリーランド州で使用することを決定し、2002年の中間

<sup>7</sup> パンチカード式を採用していたモンゴメリーカウンティでは、2000年の大統領選挙の際、州全体の74%にあたる2,565票の「過剰投票(over voting) (予め定められた選択人数の上限を超えて選択すること。)」が生じ、また、不在者投票においてパンチカード式を採用していたアレゲニーカウンティでは、9.9%の無効票が生じた。

選挙からアレゲニー、ドーチェスター、プリンスジョージズ（レバー式投票機を採用）およびモンゴメリーカウンティ（パンチカード式を採用）の4つのカウンティで使用することとした。その他のカウンティについては 2006 年までに州内全部で電子投票方式に更新する予定である。

【メリーランド州内での投票機の使用状況】

Voting System Model	Type	使用カウンティ			
		投票所での投票		不在者投票	
Data Vote	パンチカード	0	0%	0	0%
AccuVote TS	電子投票	4	21%	0	0%
AVC Advantage		1		0	
Model 315	マークセンス	0	79%	1	100%
Model ES-2000		2		6	
Optech II		1		0	
Optech III-P Eagle		16		16	
Optech IV-C		0		1	
合 計		24	100%	24	100%

カウンティ	投票所での投票	不在者投票
Anne Arundel	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Baltimore City	AVC Advantage	Model 315
Baltimore	Optech III-P Eagle	Optech IV-C
Calvert	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Caroline	Model ES-2000	Model ES-2000
Carroll	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Cecil	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Charles	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Dorchester	AccuVote-TS	Model ES-2000
Frederick	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Garrett	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Harford	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Howard	Optech II	Optech III-P Eagle
Kent	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Montgomery	AccuVote-TS	Model ES-2000
Prince George's	AccuVote-TS	Model ES-2000
Queen Anne's	Model ES-2000	Model ES-2000
St. Mary's	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Somerset	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Talbot	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Washington	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Wicomico	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle
Worcester	Optech III-P Eagle	Optech III-P Eagle

※2002年9月20日現在

## (2) 経費および購入台数

4,678機のディボールド社製の投票機が、総額13,182,920ドルで購入された。費用は、6,591,460ドルをメリーランド州が負担し、残り6,591,460ドルを有権者数に応じて4つのカウンティが按分する。

なお、カウンティの職員の訓練、有権者の教育、保管、運搬、長期保証の費用についても同様に州とカウンティで按分することとした。

(Washington Post 紙によると投票機およびカウンティ職員の訓練等のサービスを含めた金額は約15,000,000ドル)

モンゴメリーカウンティでは、3年で費用を償却し、その後はソフトウェアを更新して対応していくとのことであった。

### 【台数内訳】

カウンティ	台数	台数(障害者用)	合計(台)
Allegany	181	40	221
Dorchester	49	40	89
Montgomery	2,206	250	310
Prince George's	1,693	219	1,912
合計	4,129	549	4,678

### 【有権者数内訳】<sup>8</sup>

カウンティ	有権者
Allegany	54,932
Dorchester	22,524
Montgomery	645,012
Prince George's	582,506
合計	1,304,974

### 【費用内訳】(想定)<sup>9</sup>

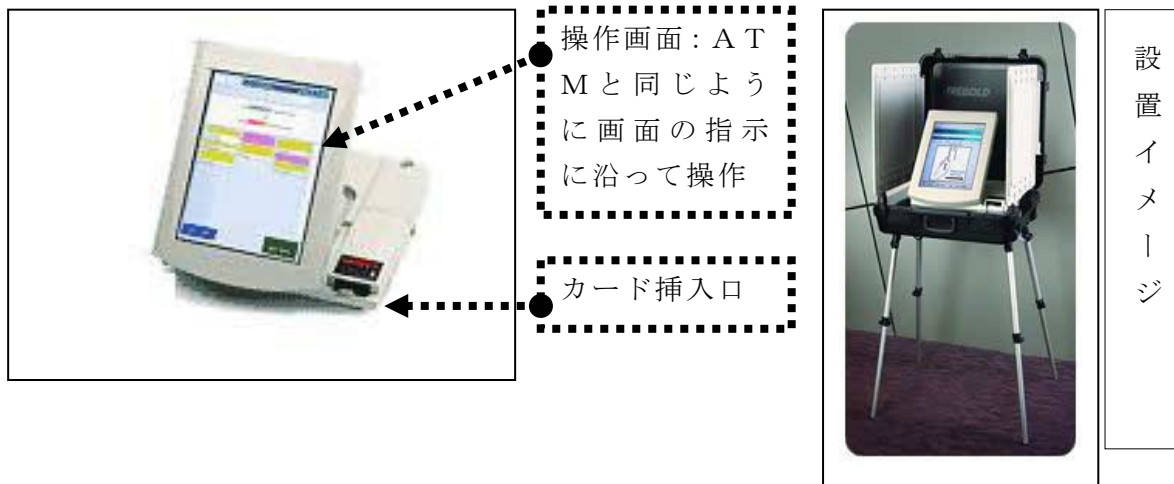
カウンティ	費用(ドル)	費用(122円)
Allegany	\$277,463	¥33,850,486
Dorchester	\$113,769	¥13,879,818
Montgomery	\$3,257,974	¥397,472,828
Prince George's	\$2,942,254	¥358,954,988
合計	\$6,591,460	¥804,158,120

<sup>8</sup> 2000年の国勢調査(Census)の数値を参照

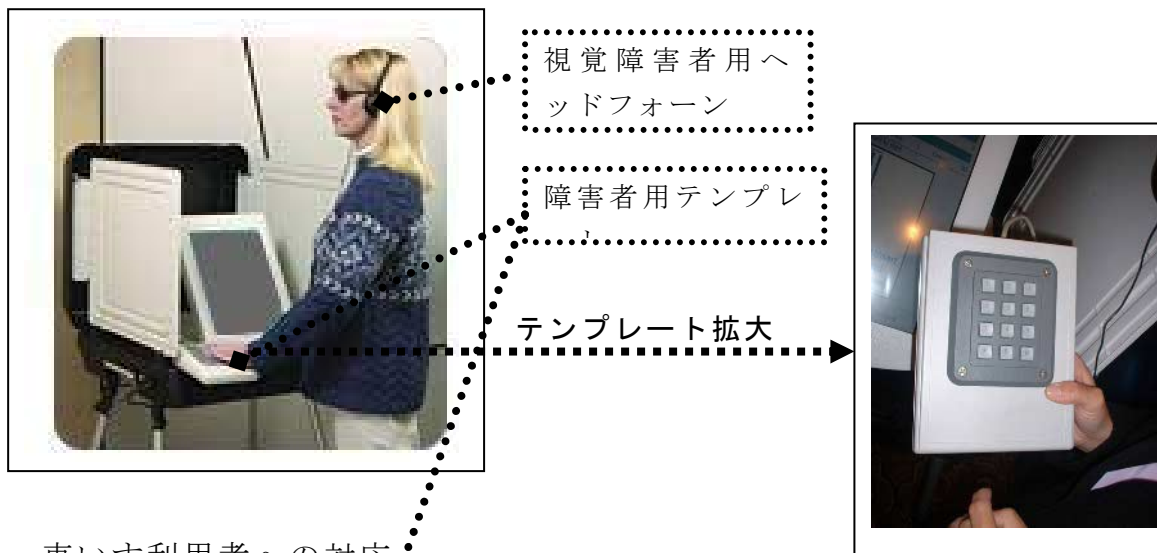
<sup>9</sup> 具体の数字が、資料に掲載されていないため、6,591,460ドルを各カウンティの有権者数に応じて按分し算出。換算レートは、2002年度財務省換算レート1ドル122円を使用。



(4) システムの概要 (Diebold Election System 社製 AccuVote TS)



○ 当該システムは、身体障害者および視聴覚障害者対応システムであり、他人の援助を必要とせず、各自が独自で投票できるようになっている。

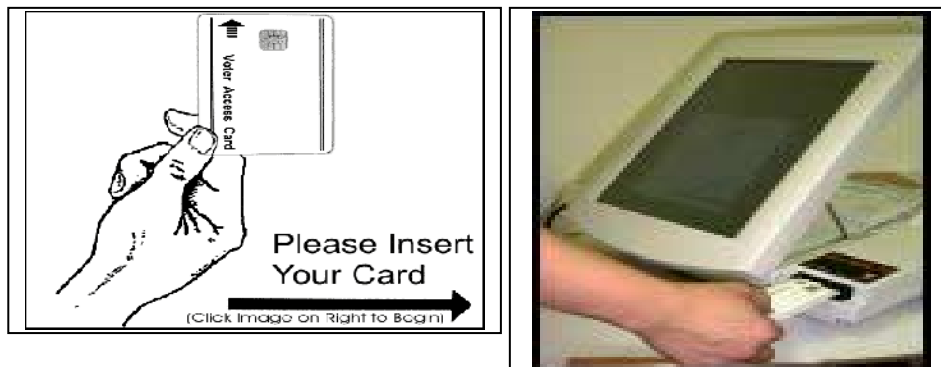


車いす利用者への対応



## (5) 投票機械の操作手順

- ① カードをシステム右側の投票カード挿入口に挿入する。



- ② 画面の操作説明を確認し、スタートボタンを押す。

### Instructions to Voters:

- TOUCH the box to the left of your choice, a red **X** will appear next to your selection. Leave the red **X** turned on.
- To change a selection, TOUCH the **X** again. The **X** will disappear and you may make a new selection.
- TOUCH the **NEXT** button at the bottom right of the screen to move to the next ballot page.
- TOUCH the **REVIEW BALLOT** button at the bottom left of the screen to move back one ballot page.
- After all selections are made, TOUCH the **CAST BALLOT** button on the bottom right of the screen to electronically

TO BEGIN VOTING, TOUCH THE START BUTTON  
(CLICK START BUTTON BELOW)

Start

③ 候補者の名前の左にある□を押す。選択されるとチェックマーク  がつく。


間違えた場合、若しくは変更したい場合は、 を再度押しチェックマークが消えた後であれば、新たに選択をすることが出来る。重複しての選択は出来ないシステムになっている。また、□を押さないことにより候補者を選択しないこともできる。選択終了後、「NEXT」ボタンを押す。

State of Maryland Maryland Votes! DemonstrationBallot		
FAMOUS LEADERS (Vote for One)	FAMOUS MARYLANDERS (Vote for no more than Two)	FAMOUS ATHLETES (Vote for no more than Three)
<input checked="" type="checkbox"/> John ADAMS	<input type="checkbox"/> Samuel CHASE	<input checked="" type="checkbox"/> Alan AMECHE
<input type="checkbox"/> Benjamin FRANKLIN	<input checked="" type="checkbox"/> Frederick DOUGLAS	<input type="checkbox"/> Jim PALMER
<input type="checkbox"/> Dollie MADISON	<input type="checkbox"/> Billie HOLIDAY	<input type="checkbox"/> Cal RIPKEN Jr.
<input type="checkbox"/> Harriet TUBMAN	<input type="checkbox"/> Francis Scott KEY	<input type="checkbox"/> Frank ROBINSON
<input type="checkbox"/> George WASHINGTON	<input type="checkbox"/> Thurgood MARSHALL	<input type="checkbox"/> Babe RUTH
<input type="checkbox"/> Write-In		<input type="checkbox"/> Johnny UNITAS
	1 of 1	Next

- ④ 投票結果を確認する画面がでてくるので、自分の選択した候補に間違いがないか確認する。間違い、若しくは変更があれば「Review Ballot」を選択し、再度③の作業に戻る。選択結果に間違い等がなければ、「Cast Ballot」を選択し投票終了

Precinct	Demonstration Precinct	
Election Total		10
<p><u>Offices that have not been voted are being displayed in RED</u></p> <p>To return to an office touch the office title.</p> <p>OR</p> <p>Touch <b>REVIEW BALLOT</b></p> <p>Touch <b>CAST BALLOT</b> to record your vote</p>		
<p><b><u>FAMOUS LEADERS</u></b></p> <p>John Adams</p>	<p><b><u>FAMOUS MARYLANDERS</u></b></p> <p>Frederick Douglas</p>	<p><b><u>FAMOUS ATHLETES</u></b></p> <p>Alan Ameche</p>
Review Ballot	Cast Ballot	

- ⑤ 最終画面が表示されると自動的に投票カードが排出され、選挙従事者にカードを返還

Precinct	Demonstration Precinct	
	Election Total	10
<p>Your vote has been recorded.</p> <p>Please remove your card and return it to the Election Judge.</p> <p>Thank You</p> <p><b>Exit Demo</b></p>  <p>Your card will automatically eject.</p>		